

AL-MANUAL AL [アクティア・ラー=ンク] ポイント認定制度 シラバス閲覧マニュアル





【ALポイント認定制度についての問い合わせ窓口】

YU-AP推進室(共通教育棟2階) E-mail : yuap@yamaguchi-u.ac.jp

学生番号	
学部学科	
名前	



保存版







AL [ァクティラ・ラー=ンク] ポイント認定制度 シラバス閲覧マニュアル 【学生用】

ACTIVE LEARNING MANUAL

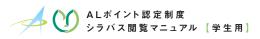
ALポイント認定制度が はじまります。

新しくALポイント認定制度がはじまります。ALポイント認定制度とは、 授業時間内で、該当するアクティブ・ラーニングの形態が、どの程度行われているか をポイント化して表示する制度です。 ALポイント認定制度の導入後には、これまでの履修登録画面や WEBシラバス画面にALポイントが表示されるようになります。 これからは、単位数や授業計画などに加えて、ALポイントを参考にすることで、 より主体的な学修のための履修が可能になります。

【ALについて】

ALとはアクティブ・ラーニングの略称です。本学におけるALとは、「教員による一方的な講義形式の教 育とは異なり、認知的、論理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図るため、 学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法(発見学習、問題解決学習、体験学習、調 査学習等のほか、教室内でのプレゼンテーション、グループワーク等)を指し、その対象として、授業科目 による正課教育だけでなく、授業外学修である正課外教育を含む。なお、授業科目においては少なくとも 1コマ以上行うものとする。」としています。





主体的な 学びの促進に 役立ちます。

WEBシラバス画面や履修登録画面にAL ポイントが表示され、授業で行われているAL の頻度が見えるようになり、ALポイントが高い ほど、ALの頻度が高いことがわかります。この ように、ALポイントを明示し、履修の参考にす ることで、アクティブ・ラーニングを通した、学 生の主体的な学びが促進されることを趣旨と しています。

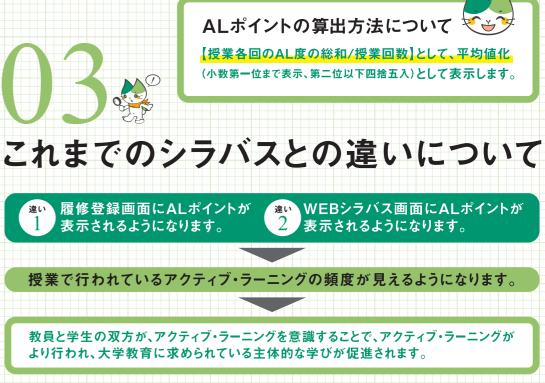
ALポイント認定制度 導入について

授業時間内でのアクティブ・ラーニ ングの度合をポイント化することで、 教員と学生がアクティブ・ラーニング に関する認識を高め、大学教育に 求められている主体的な学びの促 進に役立てることができます。

ر کر کی ک

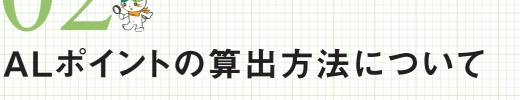
ALポイントは、アクティブ・ラーニングの6つの形態「グループワーク」「ディスカッション・ディベー ト」「フィールドワーク(実験・実習、演習を含む)」「プレゼンテーション」「振り返り」「宿題」に設定さ れてあるAL度から算出されます。 具体的には、「グループワーク」「ディスカッション・ディベート」「フィールドワーク(実験・実習、演 習を含む)」「プレゼンテーション」には、授業時間内におけるALが占める時間の割合を示す項目が 設けられており、それぞれにAL度(【多】=3点、【中】=2点、【少】=1点)が設定されています。「振り 返り」と「宿題」には、それぞれ1点が設定されています。

アクティブ・ラーニングの形態		AL度	
グループワーク	【多】=3点	【中】=2点	【少】=1点
ディスカッション・ディベート	【多】=3点	【中】=2点	【少】=1点
フィールドワーク(実験·実習、演習を含む)	【多】=3点	【中】=2点	【少】=1点
プレゼンテーション	【多】=3点	【中】=2点	【少】=1点
振り返り		1点	
宿題		1点	
$AI \pm A' + F = [AI (\pi / \pi)]$	ィブ・ラーー・ノグ)度の総和し	• 「塪丵同数

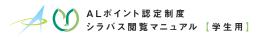


ALポイント認 定 制 度 シラバス閲覧マニュアル【学生用】

📣 (Y)



ALボイント = [AL(アクティフ・ラーニンク)度の総和] ÷ [授業回数]





【ALポイント認定制度導入後における履修画面の変更点】

■これまでの履修登録画面にALポイントの項目が追加されます。

- ALポイントの項目は、「教員名」と「追加ボタン」の間に表示されます。
- 注意 ALポイントを科目の単位数と間違えないようにお願いします。

火曜2限											
	学 部 名	時間割 コード	科目名	教員名	AL (アクティブ・ラーニング) ポイント		単位数	選択区分	定員	登録者数	備考
1	共 通 教 育	後期前半 12345	00学	教員 太郎	4.0	追加	1	選択			空き あり
2	共通教育	後期前半 12356	××入門	教員 太郎	5.2	追加	1	選択			空き あり
3	共通教育	後期前半 12323	□□概論	教員 太郎	3.3	追加	1	選択			定員 充足

【 A L ポイント 認 定 制 度 の 用 語 集 】

グループワーク

グループワークとは、集団に参加する者が、相互に影響し合う教育 的過程であり、集団過程や集団における相互作用など、学修の集 団的な側面を強調する学修形態を指します。

ディスカッション・ディベート

ディスカッションとは、集団成員の参加によって、課題について話し合 いによる学修を指し、ディベートとは、二組の個人またはグループが一 定のルールに従って一つの論題について論争することを指します。

フィールドワーク(実験・実習、演習を含む)

フィールドワークとは、ある目的を持ち、一定のフィールドにおいて観 察・調査をしたり、資料を直接収集したりする調査活動を指します。 ALポイント認定制度では、フィールドワークに、実験室等で行う実 験・実習、演習を含む扱いとします。

プレゼンテーション

履修登録画面に、その科目のALポイントが表示されます。

プレゼンテーションとは、学修者が他の人々を対象にして行われる 言語的・身体的表現活動(模造紙や写真、OHPやビデオ、コン ピューターなどのメディアを使ったロ頭発表のほかにも様々な形態 がある)を指します。

振り返り

振り返りとは、授業内において、その授業の学修内容や学修方法、 自分自身の学修状況などを想起し、ノートやワークシート(コメント シートなど)に記入などを行う活動を指します。

宿題

宿題とは、教員が学修者に対し、一定の学修、作業課題を正規の 授業時間以外(授業外学修時間)で行わせ、その結果を定められた 期日までに提出するように義務付けたものを指します。

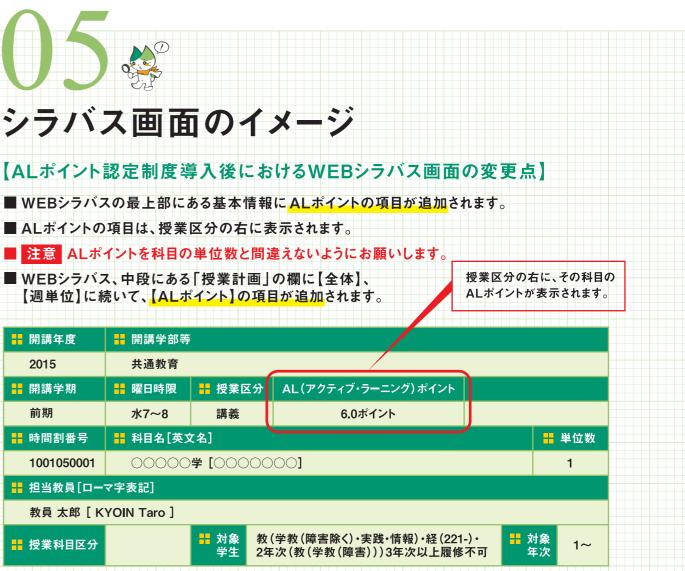
【多】、|

【多】、【中】 におけるAL を示す指標 間の50%超 の15%~5 間の15%未 われているこ

〈参考資料〉

細谷俊夫ほか(編4 『新·教育学大事典 日本教育社会学会(編)(1986) 「新教育社会学辞典」東洋館出版社 日本教育工学会(編)(2000)『教育工学事典』実教出版 山崎英則・片上宗二(編)(2003)「教育用語辞典」ミネルヴァ書房 依田新(監修)(1977)『新·教育心理学事典』金子書房

6.0ポイント



2015 共通教育 第 開講学期 第 雇日時限 第 投業区分 前期 水7~8 講者 6.0ポイント 第 単位数 1001050001 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●												
** 開講学期 ** 曜日時限 ** 投業区分 AL (アクティブ・ラーニング) ボイント 前期 水7~8 講義 6,0ボイント ** 時間創番号 ** 料自名(英文名) ** 単位数 1001050001 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	- 開講年度	▋ 開講学部	等									
前期 水7~8 講義 6.0ポイント ●時間創番号 ● 科目名[英文名] ● 単位数 1001050001 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	2015	共通教育										
第時間割番号 第 科目名[英文名] 第 単位数 1001050001 ○○○学[○○○○○○] 1 第 担当教員[ローマ字表記] 教員 太郎 [KYOIN Taro] 1 第 投業科目区分 第 対象 学生 教(学教(障害除く)・実践・情報)・経(221-)・ 2年次(教(学教(障害)))3年次以上履修不可 第 対象 年次 1~ ** 投業科目区分 ** 対象 学生 教(学教(障害除く)・実践・情報)・経(221-)・ 2年次(教(学教(障害)))3年次以上履修不可 ** 対象 年次 1~ ** 提業計画 [3単位] [3単位] 1~ (少) ** 対象 学生 2年次(教(学教(障害除く)・実践・情報)・経(221-)・ 2年次(教)(学教(障害)))3年次以上履修不可 ** 対象 年次 1~ ** 提業計画 [3単位] [3単位] 1~ ** 加速 第 注意 1~ ** ** 提業計画 [3単位] [3単位] 1~ ** [3] ** 1 ** ** [1] 「1/*** 1/* ** ** [2] 10 1/* ** ** ** [3] ** 1/* ** ** ** [3] ** 1/* ** ** ** [3] ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	- 開講学期	🔒 曜日時限	- 授	業区分 AL(ア	ックティブ・ラ ー ニン	ノグ)ポイント						
1001050001 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	前期	水7~8	講	義	6.0ポイント							
# 担当教員[ローマ字表記] 教員 太郎 [KYOIN Taro] # 投業科目区分 # 対象 学生 教(学教(障害除く)・実践・情報)・経(221・)・ 2年次(教(学教(障害)))3年次以上履修不可 # 対象 年次 1~ # 提業計画 [2年次(教(学教(障害)))3年次以上履修不可 # 対象 年次 1~ # 提業計画 [2単位] [2単位] [2単位] [2単位] [2単位] [2単位] [2単位] 「100000,40000,40000,40000,40000,40000,40000,40000,40000,40000,40	- 時間割番号											
教員 太郎 [KYOIN Taro] # 投業科目区分 第 対象 学生 教 (学教 (障害除く)・実践・情報)・経 (221-)・ 2年次 (教 (学教 (障害)))3年次以上履修不可 # 対象 年次 1~ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 	1001050001	00000										
# 投業科目区分 # 対象 学生 教(学教(障害除く)・実践・情報)・経(221-)・ 2年次(教(学教(障害)))3年次以上履修不可 # 対象 方象 介水 1~ # 投業科目区分 # 投業計画 [3] 1~ (少) (少) <th>▋ 担当教員[ロー・</th> <th>マ字表記]</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>	▋ 担当教員[ロー・	マ字表記]										
学生 2年次(教(学教(障害)))3年次以上履修不可 年次 1~ 世界、(少) 授業計画 (少) 項目 内容 授業外指示 授業記録 第1週 月 内容 授業外指示 授業記録 (少)は、授業時間内 (少)は、授業時間の割合 ((国本国家のの)(E) ((国本国家のの)(E) ((国本国家のの)(E) ((国本国家の)(E) ((国家)(E) ((国本国家の)(E) ((国本国家の)(E) ((国本国家の)(E) ((国本国家の)(E) ((国本国家の)(E) ((国本)(E) ((国本)(E) ((国本)(E) ((国本)(E) ((E) ((E) ((E) ((E) (E) ((E) ((E	教員 太郎 [K	YOIN Taro]										
(少)(少)(よ、授業時間内, からからめる時間の割合 たがらめる時間の割合 です。[多]は、授業時間 たのかし、(少)[は、授業時間 たのかし、(少)]は、授業時間 たのかし、(少)]は、授業時間 たのかの(<u>少)」(大学大学) (世)] (世)] (世)] (世)] (世)] (世)] (世)] (世)</u>								1~				
(少)は、授業時間内、が占める時間の割合 です。[多]は、授業時間内、 が占める時間の割合 です。[多]は、授業時間 50%、[少]は、授業時間 たがらめる時間の割合 です。[多]は、授業時間 50%、[少]は、授業時間 50%、[少]は、授業時間 50%、[少]は、授業時間 50%、[少]は、授業時間 50%、[少]は、授業時間 50%、[少]は、授業時間 50%、[少]は、授業時間 50%、[少]は、授業時間 50%、[少]は、授業時間 50%、[少]は、授業時間 50%、[少]は、授業時間 50%、[少]は、授業時間 50%、[少]は、授業時間 50%、[少]は、授業時間 50%、[少]は、授業時間 50% [少]は、授業時間 50% [少]は、授業時間 50% [少]は、授業時間 50% [少]は、授業時間 50% [少]は、授業時間 50% [少] (」 (選集開の50% - 50%)			+		子教(障告///3-	中八以工腹隊行						
中】、【少】 (少】、【少】は、授業時間内 が占める時間の割合 ざす。【多】は、授業時間 (個目前の50%)(細) (個目前面面前の50%)(細) (個目前面面前の50%)(細) (個目前面面前の50%)(細) (個目前面前の50%)(細) (個目前面前面前の50%)(細) (個目前面前面前の50%)(細) (個目前面前面前面前面前面前面前面前面前面前面前面前面前面前面前面前面前面前面前面												
中】、【少】 第1週 グルーブワーク ディスカッション・ ディベート フィールドワーク (実験・実習、演習を含む) ブレゼンテーション 振り返り 宿題 が占める時間の割合 (************************************				項目	内容	授業外指示	授業記録					
中】、【少】 第1週 グルーブワーク ディスカッション・ ディベート フィールドワーク (実験・実習、演習を含む) ブレゼンテーション 振り返り 宿題 が占める時間の割合 (************************************												
、[少]は、授業時間内 …が占める時間の割合 述です。[多]は、授業時間 超、[中]は、授業時間 50%、[少]は、授業時間 50%、[少]は、授業時間 第8週 年間 第8週 年間 (度黒時間の5%-50%) (度黒時間の15%-50%) (方) (方) (方) (方) (方) (方) (方)			第1週		ディスカッション・	フィールドワーク		振り返り	宿題			
超、【中】は、授業時間 50%、【少】は、授業時間 「項目 内容 授業外指示 授業記録 「項目 内容 授業外指示 授業記録 「 」 「 「 「 」 「 」					[中]				【あり】			
50%、【少】は、授業時 未満の割合でALが行 ことを表わしています。 第8週 「第1日 内容 授業外指示 授業記録 AL(アクティブ・ラーニング) ブループワーク ディスカッション・ フィールドワーク 「グループワーク ディスカッション・ フィールドワーク 「(要職時間の50%組) [多] [多] [3] [中] [あり] (要職時間の50%組) [後要時間の50%組) [10] [あり]												
未満の割合でALが行 ことを表わしています。 第8週 AL(アクティブ・ラーニング) グループワーク ディスカッション・ ディベート グループワーク ディスカッション・ ディベート (実験・実習、演習を含む) プレゼンテーション 振り返り 宿題 (受集時間の50%超) ((受集時間の50%超) (受集時間の50%超) ((受集時間の15%~50%)				項目	内容	授業外指示	授業	記録				
ま代表) (1990) 第8週 第8週 グループワーク ディスカッション・ ディベート 「タ」 (愛菜時間の50%超) 「タ」 (愛菜時間の50%超) 「タ」 (愛菜時間の50%超) 「タ」 (愛菜時間の50%超) 「タ」 (愛菜時間の50%超) 「タ」 (愛菜時間の15%~50%) 「あり] 						/	42°N					
アイヘート (実験・実営、演営を言む) 【多】 【多】 (授業時間の50%超) (投業時間の50%超)	ことを表わしています	t.	第8週		ディスカッション・	フィールドワーク		振り返り	宿題			
集代表) (1990)				[多]	[多]		【中】					
	■集代表) (1990) 典第2卷』第一法規出版 ☆ (5) (1992)		[AL(7			1	(X, 36-3 (4) (7) (7) (7) (70 / 8)					



【多】 【甲】 【あり】 (授業時間の55%を50%)	
/ト] 授業計画欄に ALポイントが表示されます。]_